

# 小学校社会 第4・5・6学年

各学年共通した課題		複数の資料から読み取った情報を基に、社会的事象の特色や意味などを考え表現すること	
学年	設問	設問のねらいと問題の概要	正答率(%)
4	大問1⑥	○ 茨城県の交通についての思考・判断・表現	47.0%
5	大問2⑦	○ 日本の気候の特色についての思考・判断・表現	46.8%
6	大問5⑮	○ 聖武天皇の政治についての知識・技能	23.3%

## — 復習のポイント — 小学校第4・5・6学年のみなさんへ

何のために資料を読み取っているのか、「問い」を意識して資料を分析することが大切です。また、資料が複数ある時には、それぞれの資料から読み取ったことを基に、「問い」の答えを探さなくてはなりません。一つの資料のかたよった情報だけではなく、複数の情報を基に様々な視点から考えて表現しましょう。

### 第4学年の問題から

- 「交通が発達していることの良さは何か」という「問い」を意識して、資料4を読み取りましょう。このようにすると、県内各地に交通網が広がっていることや、県外にも広がっていること、高速交通網が広がっていることから、「良さ」が読み取れます。

### 第5学年の問題から

- 「日本海側の降水量にはどのような特色があるか」という「問い」を意識して、資料5、資料6を読み取りましょう。このようにすると、資料5からは「冬に降水量が多くなる」こと、資料6からは「季節風の影響で冬は雪が降ること」という特色が読み取れます。この二つの情報を合わせて、日本海側の降水量の特色を考えましょう。

### 第6学年の問題から

- 資料3の年表から「聖武天皇がどこを都としたか」という「問い」が見つかります。聖武天皇のころの都の名前は、基本的な知識として覚えておく必要があります。「聖武天皇」や「大仏」、「国分寺」などのキーワードとつなげて「平城京」という言葉を理解するようにしましょう。
- ◎ 普段の社会科の授業では「問い」を意識して学習しましょう。そうすることで、社会科で大切な言葉の意味や他の言葉とのつながりが見えてきます。言葉を覚えるだけではなく、その言葉を使って考えられるようになることが、社会科では求められています。